

5. 全体施設計画

5.4 教職員ワークショップ

土浦市では平成 26 年に「新治地区小中一貫教育学校整備基本計画」の策定に向けて教職員向けのワークショップを 3 回実施している。第 2 回ワークショップ以降はグループディスカッションを行い、新治地区に限らず小中一貫教育学校整備に向けた意見を幅広く交換した。

その中であげられた意見や方針について、上大津地区統合小学校整備にも共通していると考えられる事項を以下にまとめる。

表 5-1 教職員ワークショップの概要

回数	開催日	参加者	内容
第 1 回 WS	平成 26 年 8 月 6 日	教職員 51 名、事務局 2 名	講話「小中一貫教育について」
第 2 回 WS	平成 26 年 8 月 22 日	教職員 47 名、委員長*1 名、事務局 4 名、設計事務所 2 名	アンケート集計結果及び検討案を基に意見を交換
第 3 回 WS	平成 26 年 9 月 22 日	教職員 54 名、委員長*1 名、事務局 7 名、設計事務所 2 名	検討案を基に意見を交換

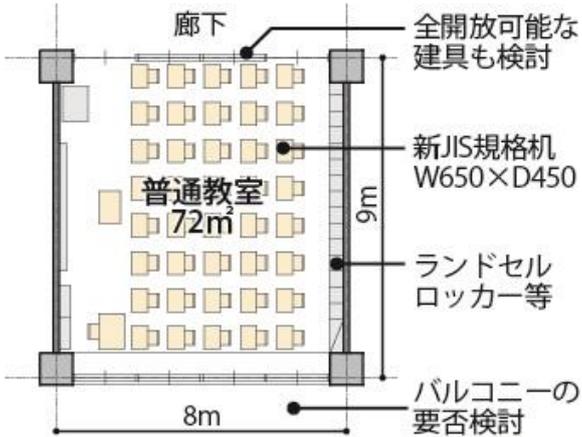
※新治地区小中一貫教育学校整備基本計画策定委員会委員長

主な意見・方針

- ・ 職員室・校長室・事務室・保健室をまとめて欲しい。また職員室・校長室・保健室は 1 階に配置して欲しい。
- ・ 職員室を直接外部に出れる 1 階もしくは敷地・学校内を見渡せる 2 階のどちらに設置するか意見が分かれた。
- ・ 保健室は 1・2 年生教室及びグラウンドに近いところに設置が良い。
- ・ 校庭のトラックは 200m トラックで十分である。ただし、小中で 2 つ必要である。
- ・ 遊具、学級園を設置して欲しい。
- ・ 1・2 年生教室は 1 階に配置して欲しい。
- ・ 図工室は小学校 3 年生から使うので 2 階にあった方が良い。
- ・ 特別支援学級と普通学級は行き来があるので近接したレイアウトが良い。

5.5 諸室の機能検討

各諸室に想定される機能を以下に示す。

機能	室名	検討事項
普通教室	普通教室	<ul style="list-style-type: none"> 学年単位の活動等を考慮し、同一学年の教室は同一階に配置する。 心の居場所としての教室となるよう、内装材や色彩の工夫、収納スペースや家具の形状などに配慮する。 児童の荷物を収納するスペースを設ける。 学習への興味や関心を高められるような掲示スペースを設ける。 多様化する学習に対応できるよう、情報機器を利用できる環境、スペースを整える。 自然体験活動の充実を図るために、バルコニーなどを教室に隣接し、一体的に利用できるようにすることが望ましい。 日照・通風など豊かな自然の恵みを活かせる配置とする。 感染症対策に留意し、適切な距離が確保できる面積とする。 1・2年生教室は1階に配置する。 <div style="text-align: center;">  <p>普通教室のレイアウト案</p> </div>
	オープンスペース	<ul style="list-style-type: none"> 廊下や多目的室などと一体的な利用ができるように配慮し、少人数学習や学年活動、異学年交流のスペースとして活用できる空間となるよう工夫する。
	少人数教室	<ul style="list-style-type: none"> 児童の興味関心や習熟度に応じたきめ細かな指導を行える環境を整える。
	教材室	<ul style="list-style-type: none"> 教材などの十分な収納スペースを設ける。
特別支援	特別支援学級	<ul style="list-style-type: none"> 児童に応じた多様な学習活動等に柔軟に対応できる空間確保に配慮する。 児童に応じた十分な安全を確保するよう工夫する。 外部からの刺激等による心理的な不安定さを考慮した、落ち着いた学びやすい環境に配慮する。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 十分な収納スペースを設ける。 ・ 職員室や保健室との連絡、便所等との位置関係を考慮した配置とする。
	特別支援教室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普通教室に加え、職員室や保健室との連絡、便所等との位置関係を考慮した配置とする。
特別教室	図書室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書架・机・椅子・閲覧コーナーの配置など、児童がより本に親しめる環境となるように工夫する。 ・ PC 室や多目的室などと連携し知的好奇心を引き出し、自発的な学習に利用しやすいように配慮する。 ・ 地域ボランティアなどによる読書活動を支援しやすい場所に配置することが望ましい。
	多目的室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年全体で利用する広い面積の多目的室を計画する場合には、利用方法などに応じ、適宜、空間を分割できるように計画することが望ましい。
	生活科室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習活動に柔軟に対応できるようなスペースとする。 ・ 学習活動で使用する教材、材料、作品等が保管できるスペースを設ける。 ・ 低学年（1・2年生）の教室に近い配置とする。 ・ 学級数の増加に対応できるよう、普通教室への転用が可能な形態とする。 ・ サブグラウンドと連携しやすい配置とする。
	理科室＋準備室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習環境に必要な設備を設けるとともに、十分な換気を確保する。 ・ 隣接する廊下などに研究成果などの資料掲示スペースを設ける。 ・ サブグラウンドと連携しやすい配置とする。
	音楽室＋準備室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽活動をより充実できるよう、発表空間・練習空間をできる限り確保する。 ・ 他の教室や近隣への音の影響に十分配慮する。 ・ 室内音響に配慮する。 ・ 隣接する廊下などに資料掲示スペースを設ける。
	楽器庫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 十分な収納スペースを設ける。
	図工室＋準備室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習環境に必要な設備を設けるとともに、十分な換気を確保する。 ・ バルコニーなどの屋外作業空間と連続することが望ましい。 ・ 準備室に作品や材料の保管スペースを設ける。 ・ 隣接する廊下などに作品・資料展示スペースを設ける。
	家庭科室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習環境に必要な設備を設けるとともに、ガスコンロの利用なども考慮し、十分な換気を確保する。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 準備室に作品スペースを設ける。 ・ ミシンなどの収納スペースを設ける。 ・ 調理、被服の授業に対応できるように、用具置場を設置するなど使いやすさを検討する。 ・ 隣接する廊下などに作品・資料展示スペースを設ける。
	児童会室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 放課後に 3 年生以上が集まり活動することを想定した計画とする。
	児童更衣室	<ul style="list-style-type: none"> ・ プライバシーに配慮した配置とする。
共用部等	昇降口・校庭出入口	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分かりやすく、移動しやすい位置とする。 ・ グラウンドへの移動に配慮する。 ・ 職員用の入口を確保する。 ・ 昇降口前に手洗・足洗を計画する。
	廊下階段等、通行部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廊下は児童が気分転換できる場所となるよう配慮する。 ・ 安全で使いやすい適切な幅員を確保する。 ・ 明るく使いやすい計画とする。 ・ 分かりやすい動線計画とする。 ・ 作品や学習成果物の展示スペースを設ける。
	児童便所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明るく清潔感のある仕様とする。
	多目的便所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用しやすい位置に配置する。
管理諸室	校長室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議、応接のスペースを設け、職員室と隣接させる。 ・ グラウンド、校門などへの見通しを考慮した配置とする。 ・ 学校の歴史などに関わる各種資料を保管するための棚を設置する。
	職員室＋湯沸＋休憩	<ul style="list-style-type: none"> ・ グラウンド、校門などへの見通しを考慮した配置とする。 ・ 職員室・校長室・事務室・保健室をまとめて配置する。 ・ 児童・保護者が気軽に入りやすいように、動線や開放性に配慮する。 ・ 校務処理などを支援する学校 LAN を構築し、情報環境を整え、将来の情報技術・機器の変化・発展に対応できるよう配線などは増設・変更しやすいよう配慮し、OA フロアなどによる配線のための空間を確保する。 ・ 打合せスペース、流しなどの設備を配置する空間を設ける。 ・ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが教職員と機能的な連携を取れるように配慮する。 ・ 各種資料の日々の利用と適切な保管を考慮した棚を設ける。
	印刷室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員室との動線に配慮する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機器設置スペース・作業スペース・用紙等の保管スペースを確保する。
会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校長室・職員室との動線に配慮する。 ・ 情報機器を効果的に活用できる環境整備をすることが望ましい。
放送室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 騒音・遮音対策を講じる。 ・ グラウンドへの見通しが容易な配置とする。また、屋内運動場への見通しも行えると望ましい。
事務室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校長室・職員室に隣接し、機能的な連携をとれるような配置とする。 ・ 書類などを保管する棚を設置できるスペースを確保する。
保健室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健室は 1 室とし、1 階に配置する。 ・ 保健室は緊急車両が入りやすい配置とするなど、緊急時の対応がスムーズにできるよう配置及び動線に配慮して整備する。 ・ トイレと簡易シャワーを設置し、トイレには汚物処理可能なスペースを確保する。 ・ 検診用器具等、物品の収納場所を十分に確保し、検診記録等の保管のため、施錠できるロッカーを設置する。 ・ 保健室に隣接して相談室を配置する。 ・ 保健室の外部出入口付近に、足洗い場を設ける。 ・ 廊下からの出入口を 2 ヶ所設ける。
相談室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童と教師が個別に相談したり、落ち着いて時間を過ごせる空間とする。 ・ 管理諸室の近くに配置とする。
玄関＋受付	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分かりやすく、移動しやすい位置とする。
給食配膳室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給食搬入ルートとの連携に配慮する。 ・ 各階に衛生的に給食を配膳可能な計画とする。
職員更衣室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女別の更衣室を設置する。 ・ 管理諸室の一角に配置し、職員室・事務室との動線や防犯に配慮する。 ・ 職員用の休憩スペースを設ける。
職員・来賓用便所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明るく清潔感のある仕様とする。
ゴミ捨て場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 十分な廃棄スペースを設ける。

屋内運動場	屋内運動場＋器具庫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 屋内運動場と校舎を繋ぐ動線は、十分な幅員を確保するとともに、安全性に配慮し、雨天時も児童が濡れずに移動ができる計画とする。
	放送室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 騒音・遮音対策を講じる。
	管理室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種用具の日々の利用と適切な保管を考慮した棚を設ける。
	玄関・ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分かりやすく、移動しやすい位置とする。
	屋内外用便所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女別に確保する。 ・ 騒音・遮音対策を講じる。
	屋外体育用器具庫	<ul style="list-style-type: none"> ・ グラウンドとの連携に配慮する。 ・ 大型器具の出し入れに配慮する。
プール	プール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原則として既存の中学校プールを改修して使用する。 ・ 外部からの視線などに配慮する。 ・ 注水・排水の管理がしやすい構造とする。 ・ 漏水対策や修繕・改修のしやすさに十分配慮する。 ・ プール水の消防水利としての利用や災害時のマンホールトイレ、建物内トイレへ利用することも考慮する。 ・ 屋上に設置する場合、防風対策に配慮する。また、庇等で直射日光に配慮する。 ・ メンテナンスのしやすい仕様とする。 ・ オフシーズンの安全性にも配慮する。
	プール機械・器具庫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 器具の出し入れに配慮する。
	プール更衣・シャワー・便所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明るく清潔感のある仕様とする。 ・ メンテナンスのしやすい仕様とする。
	部室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 用具等の収納スペースを設ける。
防災備蓄倉庫	<ul style="list-style-type: none"> ・ トラックなどの車両から直接物資を出し入れ可能な配置とする。 ・ 避難場となる体育館への搬出入が行いやすい動線とする。 ・ 倉庫自体の腐食防止により備蓄品の衛生環境を保つため、防災備蓄倉庫は体育館と合築とする。 	
児童クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校の昇降口との動線に配慮する。 ・ 特別教室等を活用しやすい動線とする。 	

5.6 各種計画

(1) 環境への配慮

エコスクール・プラスなど補助金の活用を視野に入れながら、①熱負荷低減、②再生可能エネルギー活用、③省エネルギーシステム導入の視点でLCCの低減方針を検討する。先進技術の採用にあたっては、ライフサイクルでの費用対効果を勘案し、決定する。

表 5-2 導入検討する省エネ技術・設備（例）

項目		技術・設備
熱負荷の低減		熱負荷を低減する配置計画等
		外壁・屋根の断熱性能確保、庇やルーバー、バルコニーによる日射制御、屋上緑化・Low-E ガラス
再生可能エネルギーの活用	直接利用	自然採光が得やすい計画、自然通風を促進する室配置・ドラフト効果、ナイトパーズ等
	間接利用	太陽光発電、井水利用、雨水利用、地中熱利用、エコマテリアルの採用等
省エネルギーシステム		LED、昼光利用制御、人感センサー、トップランナー変圧器、高効率空調、節水型器具

(2) 防災拠点機能の向上

災害時には避難所となり、避難が長期化した場合には学校と共存するため、災害の段階に応じて求められる機能を整理し耐震性やライフラインを確保する。

表 5-3 避難所に求められる機能

段階	求められる機能	必要な施設設備例
救命避難期 (発災直後～避難)	地域住民の学校への避難子どもたちの安全確保	安全な避難経路、バリアフリー
生命確保期 (避難直後～数日)	避難場所の開設・管理運営子どもたちや保護者の安否確認	防災備蓄倉庫、災害対応トイレ、情報通信設備、発電設備（設置要否は要協議）
生活確保期 (数日～数週間後)	自治組織の立ち上がり、ボランティア活動開始 学校機能再開の準備	上水（耐震性貯水槽）・ガス（LPG）などのインフラ設備、和室・更衣室などの個室
学校機能再開期	学校機能と避難所機能の同居	左記を考慮した施設ゾーニング

(3) 改築工事期間中の隣接中学校生徒への配慮

改築工事期間中は、中学校に隣接する敷地特性を十分に考慮し、騒音や振動への配慮や、工事範囲の明確な区画分け等により十分な安全を確保する。また近隣中学校の登校時間の車両出入りの禁止や適切な誘導員の設置などを行う。